

題目一覧

農林海洋科学部

農林資源環境科学科

暖地農学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	相生 峻也	食用カンナ突然変異系統における倒伏および収量関連形質の関係
2	畔田 理伎	イネの巨大胚と小粒形質を組み合わせた集積系統の評価
3	熱田 麻衣	フリーズドライ技術を用いたウシ胚生産技術の向上に関する研究
4	井上 雄喬	キンリョウヘンの in vitroでの器官形成に及ぼす塩化アルミニウムの影響
5	草場 勇佑	ナス個葉の日炭素収支の解析
6	神野 桃香	スイカにおける種なし化のための雌花への植物成長調整物質施与が果実形態に及ぼす影響
7	小松 伸弥	異なる気温条件下の土壤水分欠乏に伴う植物の葉温および蒸散の変化
8	佐多 美寧	ユズの園地環境が樹形と葉果比に及ぼす影響
9	芝原 翔吾	ソーラーシェアリング施設の新たな活用手法の検討
10	白川 孝至	農業分野における南海トラフ地震対策の現状と今後についてー高知県南国市の燃料タンク対策事業を対象にー
11	高井 里枝	ナスの整枝誘引法改善による効率的生産技術の確立 ー1条植え2本仕立て2面配置誘引における誘引角度と摘葉方法の検討ー
12	高岡 由唯	植物成長調整物質を用いた種なしスイカ作出技術の実用化に関する研究 ー空洞果発生の抑制と果肉質の改善ー
13	竹内 真心	腐植酸のバイオスティミュラントとしての役割
14	常盤 梨花	中小規模園芸ハウスの環境改善と新たな活用手法
15	中川 悠星	農業収入保険制度普及の現状と課題ー高知県を対象にー
16	西澤 美有	ウシ胚の発生および品質の向上に関する研究
17	野中 聡子	GHP排ガスと局所制御による作物栽培環境の改善
18	野村 莉子	ユズ果皮給与が褐毛和種高知系の脂肪交雑に及ぼす影響
19	平井 秀明	ナスの生育収量に及ぼす環境条件の影響 ー冬季における整枝誘引法と受光量、夜間の根域温度と同化産物分配についてー
20	平岩 里奈	ユズの連年安定生産に向けた技術の検討
21	藤本 航大	ニラ養液栽培における培養液の濃度と水温が生育に及ぼす影響
22	光成 柊人	新植および再生栽培における食用カンナ種系統間のミネラル集積および収量の比較
23	宮本 佳奈	ラビットアイブルーベリーの生育に及ぼす土壌改良処理の影響および葉群密度と収量との関係
24	山岡 尚幹	適正な着果数管理によるユズの生産安定化
25	山下 紗佳	ソーラーシェアリング下の環境解析と透過型パネルの利用可能性
26	山下 雄大	低温期トマト栽培における腐植酸資材の効果
27	山本 梨々花	ニラの電照栽培における光質および処理時間帯が生育に及ぼす影響

自然環境学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	麻植 瑞葉	土佐あかうしの「美味しさ」の分析および他品種との差別化について -マーケティングへの応用を目指して
2	高橋 哲哉	ウシ脂肪および骨格筋からの細胞の採取および培養についての研究
3	池見 優実	セイタカアワダチソウからのダンゴムシ忌避物質の探索
4	泉 淳稀	ナミテントウ属2種の孵化幼虫における飢餓耐性と形態の比較
5	岩佐 廉	コウノアケハダニの二系統間における生態および形態の変異に関する研究
6	岡田 遼太郎	カワラケツメイの栽培地および自生地におけるツマグロキチョウの個体数推定
7	金子 侑平	キュウリの温室栽培試験とシステムダイナミクスを用いたバイオマス量のシミュレーション
8	北山 響	オキナワセッコクの <i>in vitro</i> での器官形成に及ぼす培地中の3種の殺菌剤の影響
9	澤村 桃子	移植時期がイネの糊粉層形質へ及ぼす影響
10	寺尾 佳歩	ナス個葉の光合成能力の長期変化について
11	永田 航平	シノキマタハダニの越冬戦略に関する研究
12	西田 莞大	カシノキマタハダニ <i>Schizotetranychus brevisetosus</i> Ehara の脚長における遺伝的変異
13	野田 兼亮	多収米「ミズホチカラ」を遺伝的背景とする新規早生系統の栽培特性評価
14	久永 祥之	アブラムシに由来するイネ根へ褐変を誘導するエリシターに関する研究
15	増田 有沙	日本産フシヤク類におけるオスの色彩変異が種の分布に与える影響
16	吉岡 翔生	気象庁GPVデータを用いた秋冬どりキャベツの収量・収穫日予測

森林科学主専攻領域

NO	氏 名	題 名
1	鎌田 弥歩	茨城県小川ブナ希少個体群保護林におけるブナの開花量の長期的変動
2	藤岡 颯	高知大学嶺北フィールドの降雨遮断特性について
3	松井 優佳	高知県南国市における薪流通及び利用の実態 ～薪小売店の役割に注目して～
4	石井 春伎	中学校における森林環境教育の現状と課題 ～地域学校協働活動との関係に着目して～
5	井上 達矢	気候変動に対するブナの肥大成長と炭素安定同位体比の地理的変異
6	岩原 正朋	高知県東部におけるナラ枯れ被害
7	片山 樹	簡易動的コーン貫入試験および簡易支持力測定器による森林作業道の路体強度についての考察
8	神尾 ふく	演習林の広葉樹林における上木伐採による残存木の損傷及び萌芽状況
9	工藤 豪士	高知県における ウバメガシ立木の最小利用直径別材積式の作成
10	櫻井 拓海	嶺北フィールドにおけるモミの天然更新に影響をあたえる環境要因
11	菅野 浩	使用済み紙おむつから回収したリサイクルパルプのラベリング機能と抗菌・抗かび性の付与
12	立石 将彬	高知大学演習林における軽架線を用いた広葉樹材の伐出
13	西幡 安美	化学処理セルロースを活用した海中分解性材料の開発
14	濱岡 竜斗	林業における 労働災害と安全対策
15	堀本 浩太郎	学校教育における森林活動の現状と課題 ー高知県南国市立鷺ヶ池中学校を中心にー
16	牧野 祥史	高知県における花粉症対策苗木の流通の現状と今後の課題
17	松吉 章甫	水稲「北陸 193 号」を遺伝的背景とする新規巨大胚系統の栽培特性評価
18	村田 紫雲	高知県の最適施業体系の探索
19	森岡 洸介	地域振興における世話役的リーダーの形成過程について

生産環境管理学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	東江 一正	食用昆虫の乾燥特性に関する基礎研究
2	高橋 涼	オキナワセッコク(Dendrobium okinawense)のin vitroでの器官形成に及ぼす塩化アルミニウムとジャスモン酸メチルの影響
3	桃原 泰輝	音響式信号音の改善
4	中村 健人	風蝕量を抑制する土のせん断強さについて

生産環境管理学プログラム

NO	氏名	題名
1	泉 賢吾	GNSSの位置精度が面積精度に及ぼす影響
2	石川 涼太	ゼオライト/酸化チタン担持銅繊維シートを搭載した回転円板型促進酸化装置の抗うつ剤除去特性と生物膜抑制効果
3	木村 海秀	無機系表面被覆工法の補修材に発生する変状の特性評価に関する研究
4	久根口 亮明	水生植物の繁茂する石土池の水溫解析
5	坂井原 遥	農業用ため池における地域混住化の流入負荷量への影響
6	珠玖 楓真	風蝕量増加に関する土壌中の水ポテンシャル-豊浦砂と日立火山灰土の比較-
7	竹崎 将弘	土壌浸蝕が発生しやすい風の条件
8	武政 亜美	木質焼却灰を混合したモルタルの強度発現に関する基礎的研究
9	中山 清那	土壌硬度と土壌水分による風蝕量抑制
10	原 晃矩	補修材用モルタルを対象とした新たな凍結融解試験方法に関する基礎研究
11	藤田 琴好	棚田の維持を目指して～棚田百選から棚田遺産への時代変化の中で～
12	村口 茉美	銅及び二酸化チタンを担持した機能性シートによる青枯病菌の殺菌作用の評価
13	毛利 葉菜	オキシデーショディッチ法を採用した下水処理場の各処理工程におけるマイクロプラスチックの濃度変化
14	矢野 雄介	小豆島の自然海岸を利用したアサリ成長促進効果の検証
15	八幡 拳正	ため池における水面の熱収支に植生被覆が及ぼす影響

農芸化学科

NO	氏名	題名
1	柿沼 昂大	ゼブラフィッシュ未成熟卵子の低温傷害にかかわるプロテアーゼ
2	黒木 理光	ゼブラフィッシュ未成熟卵子の高温傷害メカニズム
3	藤野 旭人	ワタアブラムシの寄主転換に関する化学生態学的研究
4	阿部 悠里	クオラムセンシングによって産生が誘導されるアシルホモセリンラクトンは青枯病菌OE1-1株におけるクオラムセンシングの階層性に関与するか？
5	井 公亮	水田圃場における帯磁率の測定と空間変動解析による土壌肥沃度の推定
6	石川 雄大	クロロシスを呈するイネ変異株の特性評価と原因遺伝子の探索
7	榎田 百花	ハウス上限温度によるニラ (<i>Allium tuberosum</i>) の含硫アミノ酸含量の変化
8	奥原 杏佳	トビイロウンカの産卵刺激物質の探求
9	門築 秀太	植物体内における青枯病菌ペん毛レギュロンの調節機構の解明
10	工藤 溪汰	深海による長期間の低温高圧条件が清酒酵母に与えた効果と醸造特性の変化
11	栗本 壮	新規バイオポリマーイオンコンプレックスの開発
12	小林 貴弘	<i>Ochrobactrum</i> sp. ASM2AGのL-アラニン脱水素酵素の精製の試み
13	小林 稔季	<i>Zanthoxylum Zanthoxyloides</i> の根MeOH抽出物が示す3T3-L1前駆脂肪細胞に対する脂肪蓄積抑制活性の解明
14	是國 大樹	結核菌類縁菌(<i>Mycobacterium Smegmatis</i> JCM6386 ^T)に対する抗菌性物質の単離・同定
15	佐藤 黎	ポリγグルタミン酸イオンコンプレックスゲルの合成
16	庄田 朱里	バイオプラスチック分解に資する鯉腸内細菌の機能分析
17	白井 陽太郎	L-アスパラギン酸4-ベンジル脱水素酵素活性を有する細菌の探索
18	末廣 園葉	異なる栽培条件下におけるピーマンの主要フラボノイド含有量変化と簡易測定法の確立
19	鈴木 颯十	ヒト腸内細菌を起源とする推定ムチン結合因子の遺伝子クローニング
20	瀬尾 彩萌	高知県産農産物に含まれる機能性成分の定量
21	田村 彰規	部位特異的変異導入によるL-アラニン脱水素酵素の反応性改変
22	津嘉山 洸	水田土壌のマイクロプラスチック含量について
23	中川 董	ウルバン分解に関与するスルファターゼ遺伝子の同定
24	中島 未佳	マリンバイオプラスチック合成に資する鯉腸内細菌の単離
25	中西 菜緒	<i>Aureobasidium pullulans</i> を用いた菌体外β-1,3-1,6-グルカンの生産効率の検討
26	中村 真由香	酸性土壌で生育するコムギに及ぼすカリウム施肥効果の二面性
27	縄田 百合慧	様々なアルミニウム表面処理材の抗菌効果の比較
28	古川 光朗	マウス卵子の透明帯における耐凍剤の透過特性
29	堀川 理恵	高知県四万十町におけるショウガ圃場の土壌情報学的類型化の試み
30	待木 亮人	コガタズメバチの警報フェロモン
31	松本 直也	科学的分析による各種シントウの特徴の可視化
32	皆川 諒真	ブタ卵子の高温傷害に関わる脂質メディエータ
33	森下 真帆	<i>Nicotiana benthamiana</i> 植物におけるイノシトール脂質代謝の免疫応答への関与

34	山田 雅彬	<i>Burkholderia</i> sp. HME13由来 <i>N</i> -カルバミル-L-グルタミン酸アミドヒドロラーゼの諸性質
35	山元 小楨	大腸菌D-アラニル-D-アラニンリガーゼの変異型酵素の調製とその特性
36	吉村 晴香	イネに含まれるセジロウンカの産卵刺激物質の探求

早期卒業

農芸化学科

NO	氏 名	題 名
1	大成 冬真	高度好塩アーキア <i>Natrialba aegyptiaca</i> の生産する新規アミノ酸ポリマーに関する研究

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

NO	氏名	題名
1	浅田 静流	アオブダイ(Scarus ovifrons)のサンゴに対する選択的摂食
2	荒木 豪士	新奇シガトキシン産生微細藻の探索に資する間接蛍光抗体法の開発
3	飯島 巧望	フグ毒を保有する底生性渦鞭毛藻Procoentrum属の探索
4	井口 盛	フィチン酸がブリ稚魚の脂質消化に及ぼす影響
5	井口 奈々	高知県野見湾における養殖カンパチの連鎖球菌症に対するワクチン持続期間の把握、ならびにエリスロマイシン耐性株のサーベイランス
6	泉 貴仁	高知県甲殿川の塩性湿地におけるアシハラガニの行動圏とそれに影響する環境条件
7	井手 悠太郎	高知県の流域環境の異なる6河川の河口域底質中におけるマイクロプラスチック汚染
8	伊藤 隆晴	マダイの成長と生体内酸化に対するアスタキサンチンの添加効果
9	稲垣 咲乃	冬季におけるブリ筋肉コラーゲン含量の変化
10	上田 若奈	パーム油と魚油の等量混合油を用いた水温上昇期のブリ幼魚用飼料における脂質含量の最適化
11	大崎 悠生	高知県鏡川下流の遡上アユにおける細菌性冷水病のリスク評価
12	大槻 晃己	国分川に棲むクロベンケイガニが生息土壌のセルロース分解酵素活性に与える影
13	金子 建也	スケトウダラ冷凍すり身の二段加熱ゲルの物性に及ぼす焼塩添加の影響
14	川俣 光	オートメーションで培地交換が可能な半連続培養系の開発
15	吉良 明日海	珪藻において導入遺伝子を高発現可能なターミネーターの探索
16	黒澤 悠輝	化学的に安定な有機亜リン酸化合物の分解・利用に関わる海洋細菌の探索
17	小松 風太	ブリの成長性と生体防御能に及ぼすLED照射の効果
18	坂本 浩毅	ビブリオ属菌がワムシとカツオ仔魚に及ぼす影響
19	塩谷 仁賢	PAS染色に基づいたイカ類卵塊の分泌腺に含まれるムチンの同定
20	清和 凌河	高知県南西海域に出現する死滅回遊魚と在来種の種間相互作用
21	高橋 朋之	コイに寄生するDactylogyrus属の種組成およびDactylogyrus属のコイとキンギョの相互感染
22	蜂須賀 友里	光照射アクアトロンへの水温・塩分制御系の実装
23	久積 健一郎	冬季におけるブリ筋肉コラーゲンの分解挙動について
24	福田 圭佑	愛媛県吉田湾タイリクスズキ種苗、ならびに高知県手結沖養殖イシガキダイのへい死事例の原因究明について
25	保坂 実佑	カラドジョウとドジョウにおける生息地の競合の可能性
26	三浦 花歩	マダイ用飼料における魚粉代替原料としての昆虫タンパク質3種の利用検討
27	水越 直樹	高知県国分川の淡水域および感潮域中・上部におけるクロベンケイガニの分布
28	水谷 仁	高知県沿岸の藻場の長期的変化に伴う漁業への影響—各漁協支所での聞き取り調査—
29	森田 奏音	ストレス付与がマダイの感染症死亡率に及ぼす影響
30	松岡 葉月	カワハギ(Stephanolepis cirrhifer)、ウスバハギ(Aluterus monoceros)、ウマヅラハギ(Thamnaconus modestus)皮由来の酸可溶性コラーゲンの自己集合
31	綿貫 乃愛	タカハヤにみられる四万十川流域内の遺伝的多様性

海底資源環境学コース

NO	氏名	題名
1	勝野 旭	高知県足摺岬沖宝石サンゴの成長速度推定とそのばらつきの検討
2	朝山 航大	高知県三原村産「土佐硯」の地質学的な成り立ち・続成過程に基づく西日本太平洋側から産する硯材の形成過程
3	糸井 稜	京都の温泉水の化学組成
4	稲葉 健臣	新規Keggin型金属導入モリブド硫酸錯体の合成に向けて
5	岡川 晴和	三宅島周辺の黒潮の変動について
6	越智 凜太郎	新規金属置換タングスト硫酸錯体の合成研究
7	木下 愛梨	徳島県穴喰沖から採取された海洋コア中の細粒タービダイトに関する研究
8	神徳 理紗	高知県浦ノ内湾における人新世の重金属汚染に関する研究
9	清水 さつき	南鳥島沖遠洋性粘土に含まれる金属鉱物の形成過程の変遷:高解像度元素分析に基づく検討
10	住吉 虹輝	電場触媒反応による低温でのプロパン脱水素反応
11	友澤 慧大	Pt/MoO _x 系触媒を用いた低温電場中での逆水性ガスシフト反応の研究
12	中澤 棕雅	地球化学指標を用いた丹沢山地で湧出する高pH温泉水の起源の解明
13	水原 涼	紀伊半島西部の温泉水の地球科学
14	山岡 昌希	Fe担持触媒を用いた低温電場中での逆水性ガスシフト反応
15	山畠 拓海	ファインバブルガスの混在下における天然水試料の共沈処理法に関する検討

海洋生命科学コース

NO	氏名	題名
1	中塔 一晶	キリンサイ(<i>Kappaphycus alvarezii</i>)有用成分の探索研究
2	森田 浩平	クロダカワニナと琵琶湖固有カワニナ類との関係性を探る
3	石川 沙歩	新規マクロリド・イリオモテオリド-7aの構造研究
4	上村 真	有機天然物を原料とした safranal合成法の研究
5	小笠原 まり乃	海藻由来多糖類の新たな生理作用の探索
6	隠岐 翔馬	抗肥満作用を有する化合物の探索
7	絹川 勝晶	がん細胞の浸潤促進因子CXCL5遺伝子の転写活性化機構におけるRNA結合タンパク質の関与
8	小原 湧	¹⁷ O-MRSIによるマウス脳内の水観測に関する研究
9	下浦 穂貴	プラスチックを分解する土壌菌の研究
10	黒葛原 伶人	浦ノ内湾の干潟の生物多様性の研究
11	名村 有史	四国西南部に生息する有藻性イシサンゴの環境による褐虫藻組成、色合いおよび蛍光色の変化
12	野津 成美	固体核磁気共鳴(NMR)法を用いた化学処理に対する毛髪物性変化の可視化
13	野村 祥吾	海綿由来のFirmicutesとProteobacteria間の相互作用調査
14	林 塔真	アルケンのヒドロホウ素化-酸化反応における面選択性発現機構の研究
15	原村 紗季	海藻由来細菌の培養調査
16	廣本 春奈	赤潮藻ヘテロシグマおよび二本鎖DNAウイルスHaV株間における感染特異性に関する研究
17	船岳 祐作	ラフィド藻感染性ウイルスHaVの宿主特異性決定機構の解明に向けた実験的アプローチ
18	牧野 弘暉	老化皮膚線維芽細胞を用いたアンチエイジング剤のスクリーニング
19	昌本 麗	チオ尿素誘導体を用いた環境調和型スルフィド合成法の研究
20	松田 祐人	カワニナの性的二型の検証
21	宮西 真琴	ユウレイイカからの新属細菌の樹立
22	山本 尚輝	潮間帯巻貝ホソウミニナのゲノム研究

農学部

農学科

暖地農学コース

NO	氏名	題名
1	栗山 大樹	ウイズコロナ下における高知県新規就農者確保対策の展望

国際支援学コース

NO	氏名	題名
1	菊地 広海	高知県産イタダリの生産・加工・流通における現状と課題 ～高知市鏡地区に注目して～